

2022年4月22日
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

～アジア各国の障がい者の方々に、学び、働く機会を～ 「アジア障がい者支援金」を贈呈しました

イオンワンパーセントクラブは、東南アジアの障がいを持つ方々に対する教育・就労支援などを目的に、2022年1月11日（火）～2月10日（木）の期間、「アジア障がい者支援金募金」を実施しました。

全国の店舗や事業所にお寄せいただいた募金は、イオン各社の協力のもと、2,507万1,480円となりました。温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

この募金に、当財団からの拠出金を加えた総額5,014万2,960円を、駐日ラオス人民民主共和国ダリラック・ケオバンディット公使参事官、駐日カンボジア王国サウ・コウラディン参事官のご臨席のもと、4月18日（月）、AAR JAPAN※1に贈呈しました。

同支援金は、カンボジアにおいては、「インクルーシブ教育」※2の推進や、車いす提供など個別の障がいに応じた支援に役立てていただきます。また、ミャンマーやラオスにおいては、働くための技能や社会生活に必要なスキル習得をサポートする職業訓練の実施など、障がい者の方々の経済的・精神的な自立と、より積極的な社会参画に向けた支援に充てていただきます。

贈呈式では、カンボジアでの支援先の一つ、車いす工場のサー・ソパノ工房長より、オンライン中継にて、現地での活動の様子を紹介していただきました。同工房では、障がいを持つ方々が従事し、自ら車いすを生産することで雇用の機会を確保しています。また、障がいのある子どもや若者に対して、車いすの無料配付を行っています。車いすを受け取った子どもたちは、学校に通い、障がいの有無にかかわらず、分け隔てなく学ぶことができますようになりました。

イオンワンパーセントクラブは、アジア各国の障がいを持つ子どもたちが、学校に通い、教育の機会が提供されることを願い、さまざまな支援活動を行ってまいります。



右から AAR JAPAN 理事長 堀江 良彰様
駐日ラオス大使館 公使参事官 ダリラック・ケオバンディット様
駐日カンボジア王国大使館 参事官 サウ・コウラディン様
イオンワンパーセントクラブ 理事長 森 美樹



カンボジアの車いす工場のサー・ソパノ工房長とのオンライン中継の様子

※1：AAR JAPAN（認定 NPO 法人 難民を助ける会）

1979年にインドシナ難民を支援する市民団体として日本で設立。65を超える国や地域で、自然災害の被災者や紛争による難民の支援をはじめ、障がい者支援、地雷対策などに取り組む。

※2：インクルーシブ教育：

子どもたち一人ひとりの多様性を尊重し障がいの有無に関わらずともに学べることを目指す教育

以上



イオンスタイル スタッフ



イオンクレジットサービスインドネシア スタッフ



ウエルシア薬局 スタッフ

ワンパーセント
イオン1%クラブの事業

イオンワンパーセントクラブは、イオンの基本理念「平和」「人間」「地域」を具体的な行動にうつすため1990年に設立。イオングループ主要企業が税引き前利益の1%相当額を拠出し、次代を担う青少年の健全な育成に資する事業等の社会貢献活動を行う公益財団法人です。



次代を担う青少年の
健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々の学校建設などを支援します。

諸外国との友好
親善の促進

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、日本への留学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。

地域社会の
持続的発展

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、そしてこれらを担う人材の育成などを支援します。また、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興を支援します。

寄付・協賛企業一覧はこちら
<https://aeon1p.or.jp/1p/>

